

おぢばを慕い、思召に添う。



4月28日 少年会夕張団総会

力の限り子ども達と親里へ



4月18日 教祖御誕生祭、婦人会総会団参



4月25日 廻廊ひのきしん

ひきよせ

発行所

天理教夕張大教会

〒068-0029 北海道
岩見沢市9条西6丁目21

☎ 0126-22-1248

FAX 0126-23-7275

yubaridai146@gmail.com

ホームページ

bariten.main.jp



LINE 友達登録
お願いします

お知らせ

ようぼく一斉活動日 6月1・2日

月次祭 15日(主) 9時半開扉献饌

婦人会みちのだい育み塾 21日(金)

青年会夕張分会総会 30日(日)

婦人会第49回夕張支部総会 7月21日(日)

おやさまのお話

高井猶吉先生の逸話より

私が大好きな本が故・高井猶吉先生(文久元年〜昭和16年)のお話がまとめられた『教祖より聞きし話(昭和59年道友社発行)』でして、教えに納得ができて本当にスッキリとします。猶吉先生は明治12年に19才でおぢばで勤めを始められ、20才からは宮森與三郎先生と共に本部の住込み青年第一号となられ、おやさまが現身を隠されるまで7年余り、ずっとお側で仕えた方です。その高井猶吉先生の遺されたおやさまのお話を、教祖140年祭に向けて、これから紙面をお借りしまして、ちよつとずつ学ばせて頂き、人だすけの道を歩む為の心の栄養に致したいと存じます。手始めに、昭和6年の『みちのとも』に掲載された高井先生の講話を抜粋します。「(前略)お道の者は、自分がどんなに苦しめられても、人様が喜んで下さる事ならば進んでやらして頂かなければなりません。人様の喜ぶ事に一生懸命心を配っていれば、信徒なら家の中は治まる、布教師ならばおたすけが上がり、教会が栄えるのは天の理でございます。ややも致しますと、それを勘違い致しまして、おたすけ人衆が自分を中心に考えるから、こんなにしたのに先方は少

しも聞かない、何という恩知らずだろうと不足をするようになるのであります。元をよく考えましたらならば、皆お互い様は神様にご苦労頂いて、また先生方(お道に導いてくれた方々※藤田注釈)に血の病を出させるくらいに心配をかけて、救けて頂いたのですから、その御恩返しをしているのですから、先方がどうであるうが、こちらはそれが勤めであり、さんげ(過去の反省と人だすけの実行※藤田注釈)であると考えると、どこまでも人様本意にさして頂く事が大切であります。信徒の家へ、俺がたすけたのだと言う風な心を持っていたらお終いでありませぬ。どこまでも、信徒を恩人と考え、て行く所に、たすけ人の低い優しい心があり、またそれを神様に受け取って頂いて、おたすけがよく上がると言う事になるのであります。おたすけが上がれば、反対者も否応ありません。また教会も自然に教会の徳を増やして頂けるのです。(教祖)五十年祭、(立教)百年祭の大活動もどうか我が身我が家を問わずに、世の中の為人の為に思つて、どうかお働き下さらん事をお願い致します。(本文より)このお話に深く自分を反省して、また明日からも頑張りたいと思います。

大教会長 藤田大和

四月月次祭の様様

4月に入つて道内もゲンゲンと気温が上昇し、本格的な春の訪れを感じさせる日が多くなった。

迎えた15日の月次祭も、この日の最高気温はなんと25度。4月とは思えない程の陽気となった。祭典後に『教会長夫妻おたすけ推進の集い』が催される事もあり、全道各地から教会長夫妻をはじめ、多くの参拝者が大教会に寄り集つた。この日は定刻よりも30分早く、9時より開扉献饌。祭儀式のち祭文奏上。その後座りづとめ・十二下りのてをどりが勤められた。ゲンゲンと気温が上昇する中、勇んだおつとめを続けていると、暑さを感じて汗ばんでくる程の気温であつた。

十二下り終了後、親神様、教祖霊様を礼拝して一旦月次祭を終了した。その後、大教会長より、3月26日のお運びにて善進道分教会の五代会長に就任した、渡部辰大氏が紹介され、会場からは万雷の拍手が沸き起こつた。

月次祭に引き続き、『教会長夫妻おたすけ推進の集い』が開催され、集まつた教会長夫妻や、参拝者が参加し、2年目となった年祭へ向かう三年千日の、教会の人間として、ひいてはようぼうくとしての通り方、心構えを改めて学ぶ場

となつた。

教会長夫妻
おたすけ推進の集い

4月15日、月次祭後の大教会神殿において、教会長夫妻おたすけ推進の集いが開催された。夕張部内の教会長夫妻が参加し、また月次祭に参拝に来ていた方も共に参加した。

初めに大教会長からあいさつがあり、「今日来られたみなさんが、これをきっかけに始められることを、何か一つ作つて下さい、というのをおちばの思いであると思ひます。それぞれで出来る事を探してみして下さい」と話された。

引き続き宮森与一郎内統領のメッセージ動画が流され、「教会長夫妻はようぼうくの一人であると同時に、教会に繋がるようぼうくの手本となるべき立場でもある」と話された。また心掛けるポイントとして、『日々のにをいがけ』、『積極的なおたすけ』、『ちばの理をしつかり戴く』という事、三点をあげられた。

その後、二つの教会長の具体的な実践の様子が動画で流された。おちばの実動によつて、家族の身上や事情を乗り越えていく姿、毎月の団参を通して教会の絆と信仰が深まっていく姿が映し出され、

三年千日の通り方の参考になる教会の動きに、参加者たちは熱心に動画を見ていた。

講話に高橋太志役員が立ち、「この間乗車したタクシーの運転手さんが『私のおばあさんが、私にとつて叔母さんに当たる人が足が歩けなくなつた時、天理さんが来てくれて歩けるようになったんだ』という話をされて、『助けられたことを忘れるんじゃないよ』と何度も言っていたんです、その時に叔母さんを助けてくださったおたすけ人がいらつしやるんですね。その方が一生懸命、神様にお願ひをしたおかげで、歩けるようになった。私たちも同じように、気づかないところで、天理さんに助けられた、自分の名前は言つてくれな

いですが、しかしながら実際に助けられたということが事実として残るのではないかと、と思ひます。私たちの存在自体が、必ず人のたすかりになつていて、このことをお互い信じて、自信を持つて歩ませて頂きたい、と思ひます。

インターネットで『利き目』というキーワードを見つけました。人間には、どちらか必ず利き目というものがある、同じものを見ても、利き目の方が最初に脳に入つていくんだ、という説明がありました。利き目の方が最初に脳に入つてくる情報ですから、その利き目

が人に助かつてもらいたいという目で物の見方をしていけば、先ほどの実動されてる会長さん素晴らしいな、と思うだけではなくて、私たちも同じような思いになれるのでは、と私は信じています。

そう考えると、過去の思い出も、ちよつと違った感じ方をする事があると思ひます。私は39年前に布教の家を出ました。その時に山口組の事務所、間違つてインターホンを押して、事務所に連れ込まれて1時間以上弄ばれた経験があります。とても嫌な経験ですけど、その時に幹部の人が『自分のおばあさんが修養科に入っているんだ、けれどもどうだろうか』つて仰られたので、私は『修養科はいっぱいいるんな人がいて、具合が悪い人には手を貸して下さるし、きつと元氣になつて戻つてこられると思ひますよ』と話したら、その幹部の人が『安心した』と仰つたんです。利き目の方を助けたという目で見れば、その困つている幹部の人に『大丈夫ですよ』つてその言葉を伝えてきなさい、と

教祖が仰られたと思えば、少し感じ方が変わってきました。自分の思い通りにならないことばかりですが、その中に利き目の見方を少し変えることによつて、ご守護を頂いたり、喜びの気持ち湧いてくるのでは、と感じております。

今私たちは、なかなかおちばに帰らせていただくことができません。おちばに帰るうと思つていても、色々な事情で帰ることができませんけれど、ちばに心を寄せる、ということではできないのでは、と思ひます。例えばおちばに帰られる方に何か思いを託すことであつたり、本部月次祭の時間におちばを思い出しながら御用を務めるなど、色々工夫をすることによつて、おちばに心を寄せることができま

す。方法はいくつもある、と少し物の見方を変えて、ちばに心を寄せていただければ、と思つています。教会は、多くの助かつた人の喜びを共に感じ、また多くの悲しみを知る事となります。しかし、その悲しみの中でも、心を倒さずにして起き上がつていけば必ずご守護を見出すこと、また喜びの種というものが生まれてくる、と私は信じております。幅は一人一人違つていても、しかしながら少しでも一歩前進を、夕張に繋がる私たちが進めていければと考えています』と話した。

最後に閉講のあいさつとして藤崎実役員が壇上に上がり、それぞれが小さな事でも毎日毎日続けさせて頂くことが大切である旨の話をして、終了した。終了後には参加者におにぎりとお茶が配られた。

婦人会 第106回総会 報告

■おやさま御誕生祭と婦人会第106回総会に婦人会員33名、総勢42名がおちばへ帰らせて頂きました。引率として届かないところもあったと思いますが、無事に親神様にお連れ通り頂けた事が本当に有難く、嬉しく思いました。

御誕生祭は、穏やかな春の日和の中で参拝させて頂き、明るく19日の総会も晴天のご守護の下、婦人会長様よりご挨拶を賜り、「親神様、おやさまを信じて、もたれ切り、思召に添う心を定め、人間思案を捨てて、教えを素直に実行することが大切」とのお話に、改めて自分の毎日を振り返り、帰ってからこれまで以上に心の努力をさせて頂きたいと思えました。

18日夜、詰所では本部准員の宇野長生先生による「イライラしない子育て講座」を受講者参加型の形式で、とても盛り上がりました。また総会の後には「支部の集い」が開かれ、4班に分かれて信仰についての活発な練

り合いがなされ、とても有意義な時間を過ごしました。来年もまた1人でも多くの方におちばへ帰って頂けるよう、お声を掛けたいと存じます。

この度、誕生祭はとても良いお天気の中で参拝させて頂きましたので気持ち良く、19日の婦人会総会では、私達は数年ぶりに会場の案内ひのきしんをさせて頂きました。当日は早くから南礼拝場のパイプ椅子を雑巾で拭いて準備し、総会の間には、体調を崩された方や、トイレを探している方などのお世話をさせて頂きました。一緒にひのきしんを務めたのは初めてお会いする方々ばかりでしたが、お話をさせて頂くと、知り合いの知り合いだとわかり、何処にいても人の繋がりがあふんだなあと嬉しい気持ちになりました。

コロナが落ち着いて、おちばへ帰れるようになり、ご本部で参拝出来る喜びを感じていましたが、今回ひのきしんに参加させて頂いて、おちばへ帰られた方々に「おかえりなさい」と声をかけたり、「ありがとう」と向こうから声をかけて頂いたり、人のために動く事の喜びを凄く感じる事が出来ました。ひのきしんに参加させて頂いて感謝しています。



(馬追 竹田愛子)

全教一斉ひのきしんデー 4月29日

夕張の皆さんもそれぞれの地域で、かりものへの感謝の心を胸に、ひのきしんに汗を流したことでしょう。編集部に寄せられた各地の声と写真をご覧ください。

南空知支部 志加ノ谷分教会より 南空知支部夕張組では、特別養護老人ホーム「清光園」にて、除草清掃ひのきしんを行った。心地よい日差しに恵まれた当日、参加者21名は日頃のご守護に対する感謝を胸に、時折会話に花を咲かせながら、和気あいあいとひのきしんに励んでいた。

(岩佐)



旭川支部 旭都分教会より この日、桜前線の北上により会場の旭川常磐公園も園内にある桜が満開となって、ひのきしんに汗する人々を労っているようだった。当教会でも12名が参加して園内の落ち葉、枝を拾い集めました。

(藤崎)



親里より 夕張詰所勤務者、修養科生は本部中庭に集合後、各ひのきしん現場へ移動。夕張詰所は北西側境内地の除草を行った。この日に合わせ、詰所にひのきしんに来られた家族もあった。(詰所主任)



札幌北西支部 幌都分教会より 宮丘公園内の落ち葉や枝を集めたり、側溝の掃除をした。久しぶりに100名を超える参加者で、賑やかなひのきしんデーとなった。

(藤田)



ともに陽気ぐらしを目指す、ようばくに育つように 第45回 少年会夕張団総会

4月28日10時から、夕張大教会にて第45回少年会夕張団総会が開催され、少年会員52名、育成会員68名、計120名が参加した。

総会では、藤田豊団長の手に合わせて参拝した後、和泉結夢さん



(善進道) 梶川ゆうかさん(新生生)が、「開式のことば」を元氣いっぱいに

始め、会場の心が一つとなり総会が始められた。

続いて、少年会長様の御告辞を高橋太志役員が代読。ひのきしん、おつとめの大切さを子どもたちに伝え、少年会員も真剣に耳を傾けていた。そして、おつとめまなびは3交替に分かれてつとめられ、子どもたちは緊張の面持ちの中、



この日に向けた練習の成果を發揮し、一手一つにおつとめをつとめた。

その後は、松下湊くん(神富)、藤塚楓音さん(祝梅)が代表で、少年会員の「ちかい」を宣誓。また、



少年会の歌を全員で斉唱し、最後に藤田雄大くん(直轄)、藤田一喜くん(幌都)が「閉式のことば」をつとめた。

昼食には、婦人会のみなさんが腕によりをかけたおいしい料理がふるまわれ、少年会員をはじめ、育成会員も大満足の時間となった。そして、午後からはお楽しみ行事。アイデアいっぱい緑日コー

ナーや、宝探しゲーム、最後には抽選会で大盛り上がりを見せた。

渡部辰大善進道分教会長が、神殿内にて、映像をまじえて、ごどもおちばがえりの紹介をし、参加を促した。最後は藤田団長の手に合わせて参拝した後、子どもたちはお下がりを受け取って、散会した。

多くのスタッフに支えられ開催された本年の総会。たくさん友達と、楽しい充実した時間を過ごすことができた子どもたちの笑顔が、とても印象的だった。

後日、神野幌布教所の竹田悦子さんより、「少年会総会に馬追隊が数年ぶりに参加させて頂き誠に有難うございました。秋田県2名、羽幌町1名の少年会員は、前日、練習お泊り会をしても親子共々不安でしたが、本番何とか頑張る事が出来ました。お楽しみ行事を楽しみ、笑顔で帰宅しました。スタッフの皆様有難うございました。」とのメッセージが寄せられた。

にをいがけ実働報告とご案内

大教会では、年祭活動の一環として、定例のにをいがけ実働日を設定することとなりました。

◇活動報告

日時・4月30日 10時～15時

場所・岩見沢市内

参加人数・4名

内容・神名流し、戸別訪問、チラシ配り、大教会除草ひのきしん

◆次回案内

日時・5月16日 10時～15時

集合場所・夕張大教会

皆様のご参加お待ちしております

庶務部 4月



▽教人資格検定講習会

・前期 4・27～5・1

千葉 靖子 (長沼)

藤北 沙穂里 (長沼)

▽修養科995期新人生 5・1

岡田 翼 (直轄)

▽詰所ひのきしん 4・15～16

井内 寛二 (上富良野)

井内 智美 (上富良野)

村上 裕二 (南紀)

村上 孝子 (南紀)

▽をびや 1件

▽詰所教養掛

5月 千葉祐生(大龍)

6月 岩佐善昭(志加ノ谷)

【お詫びと訂正】

先月号庶務部欄に誤りがありました。

訂正してお詫び申し上げます。

▽修養科994期新人生 4・1

(誤) 松尾 柊斗(北張)

(正) 松尾 柊斗(継立)

大教会日誌抄

4月

1日 たすけ推進会議

4日 会長、支部例会、組例会

14日 月次祭準備

15日 月次祭

教会長夫妻おたすけ推進の集い

16日 会長夫妻、おちばへ 婦人会例会

18日 教祖御誕生祭

19日 婦人会総会 会長、婦会 会長夫人、支部長主任伏せ込みひのきしん

22日 会長夫人、婦会

23日 会長、おちばへ

24日 会長、本部神殿当番

26日 本部月次祭 遥拝式

27日 会長、かなめ会

28日 少年会夕張団総会

29日 全教一斉ひのきしんデー

30日 にをいがけ実働日